

ジェネリック医薬品を選ぶことは、現在の医療制度を守るにつながります。

子ども医療制度は、各家庭の子育て期における経済的負担を減らすため、お子さんが医療機関を受診した際にかかる医療費の自己負担分を軽減する自治体が行う取り組みです。みなさんの窓口での支払いを軽減するための費用は自治体が負担しています。

医療費が増え続ければ、この医療制度を次の世代へつなげていくことが難しくなります。

先発医薬品からジェネリック医薬品に替えると、「税金」や「保険料」でまかなわれている医療費を節約することになります。

今の制度の恩恵を受けながらも、子どもたちや子どもを育てる世代が安心して暮らせる未来を着実に残すことが求められています。

ジェネリック医薬品の選択は子どもの医療制度を未来につなげる

「確かな貢献」です。



【お問い合わせ】

福岡県保健医療介護部薬務課
電話：092-643-3285

薬の使用方法や取り扱い方法などに関して
ご質問がある場合はこちらにお電話ください。

公益社団法人福岡県薬剤師会
薬事情報センター

【くすりなんでもテレホン】

電話：092-271-1585

【LINEやメールでも相談できます】

LINE



e-mail



【厚生労働省動画コンテンツ】

<https://www.youtube.com/watch?v=G1wIFFEHJIs>

ジェネリック医薬品について
動画でわかりやすくご説明しています。





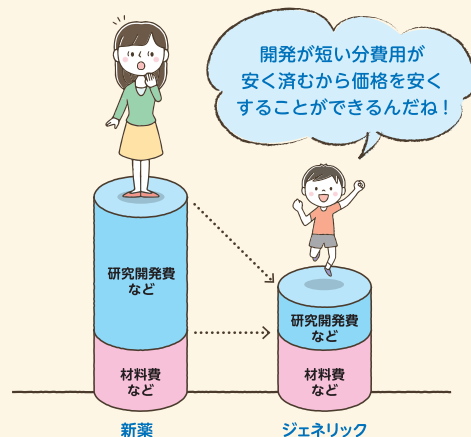
ジェネリック医薬品の利用促進は、子ども医療制度を未来につなぐ「確かな貢献」です。



ジェネリック医薬品とは先に開発された薬（先発品）の特許期限が切れたあとに、同じ有効成分を用いて製造される医薬品です。

先発品と同じ有効性・安全性ですが 安価です

- 先発品と同じ有効成分、同じ効き目として国が承認したものです。
- 有効性や安全性は先発品と同等でありながら、**価格は先発品より安いのが特徴です。**
- 医療制度を未来につないでいくためには、医療費の節約が非常に大切です。
- ジェネリック医薬品を選ぶことで、国の医療費を節約できます。



飲みやすい工夫がしてあります

- 先発品の特許期間中に処方を受けた患者さんや、医師、薬剤師、看護師などの医療関係者などから集めたさまざまな意見をもとに、患者さんが飲みやすいように工夫が加えられています。
- 味や大きさを改良したり、容器を改良したりして使いやすくしている製品があります。

製剤の工夫



大きくて飲みづらい錠剤を小さく



コーティングなどで苦みを少なく



錠剤を飲みにくい患者さんのために形を変更（ゼリー状、液状など）



間違っって飲まないように文字や色で工夫

希望するためにはどうしたらいいの

- ジェネリック医薬品を希望される際は、まず、医師・薬剤師にご相談下さい。
- 希望を医師・薬剤師にお伝えする際は、「ジェネリック医薬品希望シール」を子ども医療証やお薬手帳に貼って、病院や薬局の窓口で提示するなどご活用下さい。

ジェネリック医薬品を活用しましょう！

シールの使用例 /

健康保険 有効期限 令和00年 0月00日
被保険者証 交付年月日 令和00年 0月00日

記号 △△△△ 番号 000000
氏名 ○○ ○○
生年月日 平成00年 0月00日 性別 男
資格取得年月日 令和00年 0月00日 ジェネリック希望します
住所 □□県□□市□□町0番00号
保険者番号 □□□□ 0:0:0:0:0:0:0 保険者名 □□□□

お薬手帳

※印字された文字に重ならないようにご注意ください。

ジェネリック希望します

ジェネリック教えてください

